



Miura city council news

みうら市議会だより

2022.11.1 第151号



- 令和3年度決算を認定
- 第2回臨時会を開催
- 議会活動でのタブレット端末使用について検討



総務 経済

◎三浦市市民交流拠点整備事業者選定審議会条例

本案は、市民交流拠点整備事業を実施するために必要な調査・審議を行う機関を設置するものです。

(質疑の主な項目)
・審議会委員の任期について
・女性委員の登用について

質問 審議会委員として想定している委員の構成を伺いたい。

答弁 学識経験者・有識者として、公共施策、公民連携、建築計画、地域交流・マネジメントの各分野から一名ずつと、市職員一名を予定している。

◎三浦市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

本案は、職員の育児休業の取得回数や取得要件の緩和、取得方法の柔軟化等をするものです。

(質疑の主な項目)
・男性職員の育児取得状況について
・育児を取得しない職員への聞き取りについて

質問 育児の取得促進のため、どのようなことに取り組んでいるか。

答弁 作成した「子育て応援ハンドブック」による周知や職員研修を実施している。また、対象となった職員には、人事課が個別に育児に関する制度の説明を行っている。

◎三浦市三崎水産物地方卸売市場条例の一部を改正する条例

本案は、海水供給施設の使用料を新設し、そのほか必要な規定の整備を行うものです。

(質疑の主な項目)
・使用料の額の設定根拠について
・使用が予定される海水の量及び用途について

質問 条例改正後の海水供給施設の利用見込みは、二町谷埋立地に進出した水野学園から、一

回三立方米、週二〜三回程を使用することの希望があった。



進出事業者による整備が進む二町谷

◎令和四年度三浦市一般会計補正予算(第三号)

本案は、歳入歳出それぞれ一億七百三十一万一千円を追加し、予算総額を百八十二億二千三百六十万七千円とするほか、債務負担行為の補正を行うものです。

(質疑の主な項目)
・文書管理・電子決裁システム構築に係る予算を繰越す理由について
・西岩堂最終処分場廃止までの管理について

質問 DX推進事業の中でタブレット端末を購入

するが、具体的な内容をお聞きしたい。

答弁 タブレット端末五台を購入する。現在ネットワークが整備されていない会議室等でウェブ会議が行えるようになり、また、現在のネットワーク環境では利用できないウェブ会議ツールも使えるようになる。



◎令和四年度三浦市市場事業特別会計補正予算(第一号)

本案は、歳入歳出それぞれ二千三十五万九千円を追加し、予算総額を三億九千四百六十一万一千円とするものです。(質疑は特にありません)

都市 民生

◎令和四年度三浦市公共下水道事業会計補正予算(第一号)

本案は、三浦市公共下水道(東部処理区)運営事業費に係る債務負担行為の限度額を補正するものです。

(質疑の主な項目)
・債務負担行為の限度額を増額した理由について

質問 さらなる補正予算など、今後見込まれることはあるか。

答弁 全国的に※コンセッション方式の事例は少ないため、現時点で予測できるものを措置している。今後の社会情勢等により大きな変化があった場合は、その都度説明したい。

意見 公共下水道は、地方自治体が責任を持つべきものであると考えているため、反対する。

◎公共施設等運営権の設

定について

本案は、三浦市公共下水道(東部処理区)運営事業について、公共施設等運営権を設定するものです。

(質疑の主な項目)
・運営権者の名称と構成について



金田中継センター(汚水を処理場へ送るポンプ場)

意見 コンセッション方式の導入は全国でも珍しい。事業者から地域貢献に関する提案もされており、成功を期待する。

意見 コンセッション方式では、市が責任を持つて環境を守っていくことに対して不安があるため、反対する。

※コンセッション方式：料金収入のある公共事業において、民間事業者(運営権者)が市有施設を利用して事業を行う手法

新たに提出された陳情

◎令和五年度における「重度障害者医療費助成制度継続」についての陳情

趣旨 本陳情は、令和五年度予算の策定に際し、重度障害者医療費助成制度について、障害児者が負担なく医療を受けられるような施策を求めています。

◎令和五年度における「障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援」についての陳情

趣旨 本陳情は、令和五年度予算の策定に際し、障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援を含めた施策を求めています。

◎「不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の採択を求める陳情書

趣旨 本陳情は、不登校の児童生徒が学校以外の場において行う多様な学習活動に対して、その負担軽減のための経済的支援について検討し、必要な財政上の措置を

講ずることについて、国に意見書を提出するよう求めています。

◎陳情書（三浦ニュータウン計画）について

趣旨 本陳情は、「三浦ニュータウン計画」を立ち上げ、行政と協力して安心・安全なまちづくりを一日も早く実現することを求めています。

◎陳情書（戦跡調査団の結成について）

趣旨 本陳情は、「三浦一族戦跡調査団」を結成し、和田義盛の墓参を早急に実現することを求めています。



陳情の審査結果

9月定例会で審査を終えた陳情は、次のとおりです。

所管委員会	件名	結果
総務経済	陳情書（三浦市選挙管理委員会の業務に関する調査等について）	審議未了
都市民生	令和5年度における「重度障害者医療費助成制度継続」についての陳情	了承できるもの
	令和5年度における「障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援」についての陳情	

請願書・陳情書の提出方法

◇市政についての要望などを、請願や陳情として議会に提出することができます。

◇請願は、紹介議員が必要です。

◇書式はA4・横書きで、次の例を参考にしてください。

〈記載例〉

〇〇についての請願(陳情)書

請願(陳情)の趣旨

請願(陳情)の理由

令和 年 月 日
三浦市議会議長 様

住所 ○○○○
氏名 ○○○○
(署名または記名押印)

◇定例会ごとに定めた提出期限までに受理したものは、その定例会で取り扱います。

◇提出者は、付託された委員会に出席して趣旨説明ができます。(前日までの申し出が必要です)

提出期限等は議会ウェブサイトを「請願と陳情」のページをご覧ください。



令和3年度

歳入歳出決算を認定

決算審査特別委員会の審査から 一部抜粋

令和二年度の一般会計、企業会計を含む特別会計の決算認定議案は、七人の委員で構成する決算審査特別委員会で審査を行いました。

決算審査 特別委員会

委員長 出口 正雄
副委員長 溝川 幸二
委員 寺田 一樹
鈴木 敏史
石橋むつみ
千田 征志
長島満理子

総括質疑

市政全般にわたり
市長に質疑

質問 令和三年度を振り返っての感想は。

答弁 コロナ禍で市内経済が低迷している中、国の交付金を活用してさまざまなことに取り組んだ。

質問 一町谷の問題が片づくなど好転できる側面があったほか、ふるさと納税の活性化や歳出削減の取組などから、財政的な数値も改善してきている。

質問 公共下水道事業会計について、監査委員か

ら不適切な会計処理が指摘されたが、このことに対する市長の見解は。

答弁 下水道事業会計が企業会計になって見落とされていたもので、監査委員の指摘に感謝している。法の定めのとおりにできていなかったことについては、大変申し訳ない気持ちである。

質問 新型コロナウイルスの感染が拡大する中での変化について、市長の思いは。

答弁 市の体制としてリモートワークの実践など、感染予防対策がとられてきたことは大きな変化である。飲食店や小売店でも対策がとられているが、厳しい状況にある業種もあるので、早く普通の生活に戻りたいという思いである。

質問 非接触型の、デジタル方式による「みうらおもてなしクーポン」の取組と成果についてお聞きしたい。

答弁 コロナ禍で経済が冷え込む中、市内に本社を置く事業者を対象としたことで一定の効果があつた。スマートフォンを使い慣れていない方には丁寧な対応をすることが大事だと思う。

令和3年度 各会計の決算状況

会計区分		歳入（収入）	歳出（支出）	差引額	
一般会計		201億1,088万円	191億1,273万円	9億9,815万円	
特別会計	国民健康保険事業	57億4,355万円	56億6,254万円	8,101万円	
	後期高齢者医療事業	8億1,915万円	7億8,201万円	3,713万円	
	介護保険事業	53億6,301万円	53億5,401万円	900万円	
	市場事業	2億8,293万円	2億5,581万円	2,712万円	
	第三セクター等改革推進債償還事業	2億6,444万円	2億6,444万円	0円	
	企業会計	病院事業	27億131万円	26億4,901万円	5,230万円
		水道事業	14億7,563万円	13億9,160万円	8,402万円
公共下水道事業		10億743万円	9億9,942万円	801万円	

※金額は1万円未満を切り捨て。企業会計は収益的収支を掲載しています。

一般会計

歳入

- 個人番号カード交付事業に対する補助金の内容について
- 土地貸付収入の減額理由について

質問 市税の納付におけるスマートフォン決済アプリの利用状況は。

答弁 四年一月四日から利用を開始し、三年度中は四十二件、九十九万八千九百円の納付があった。

歳出

総務費

質問 移住定住促進の取組について伺う。

答弁 「三浦移住学」と題した講座を開催した。また、民間事業者によりトライアルステイが実施された。

民生費

- コロナウイルス感染による自宅療養者への食料配送支援について
- 児童虐待防止のための親子向けプログラムの内容について

衛生費

- がん検診受診率向上の取組について
- びん缶選別残渣処理の費用が新たに生じた理由について

農林水産業費

- 鳥獣被害の状況と対応について
- 二町谷の汚水処理施設改築による処理能力向上について

商工費

- 創業や事業承継に関するセミナーの内容について
- 三浦市観光協会の体制強化と取組について

土木費

質問 三浦縦貫道路整備に伴う市道の整備内容をお聞きする。



整備された市道1885号

答弁 道路の幅員を広げ

て歩行スペースを広くした。コロナウイルス感染拡大の影響により工事完成は翌年度になった。

消防費

- 消防水利施設の整備基準について
- スタンドパイプの整備場所について

教育費

- SDGsの視点を意識した授業について
- 不登校の増加と対応について

災害復旧費

- 大雨や台風に伴う復旧工事について

特別会計

国民健康保険事業

質問 特定健康診査の受診勧奨の手法と効果をお聞きしたい。

答弁 心理特性を四つに分類して分かりやすく案内した結果、県内で下位にあつた受診率が、平均値以上まで上昇した。

後期高齢者医療事業

保険料の軽減特例について

介護保険事業

質問 コロナ禍での介護予防活動について伺う。

答弁 会場が使えないといった影響があり、地区によっては、室外で開催したり、回を分けて行っている。

市場事業

質問 製氷施設を直営にしたが、運営管理の課題は何か。



鮮度保持に効果のある窒素水販売

答弁 氷を常時供給できるようにすることが必要である。また、メンテナンスは直営ではできないため、専門業者により行う考えである。

第三セクター等改革推進債償還事業

土地の貸付料に関するコロナ対応の減免額について

- 二町谷埋立地において今後見込まれる収入について

企業会計

病院事業

- 医療機器の更新について
- リモート面会の実施状況について

水道事業

- 有収水量率向上のための老朽管工事について
- 漏水調査方法の見直しについて

公共下水道事業

- コンセッション方式導入に向けた事業内容について
- 水洗化率向上の取組について



公共下水道のカラーマンホール

賛成

討論

反対

一般会計決算

反対討論

石橋むつみ委員

市の職員数は、条例を改正して定数を減らしたが、依然不足している。就学援助制度では、学用品費の支給額が国基準の二分の一のみである。

賛成討論

千田征志委員

歳入増のため、市税の納付環境の向上やふるさと納税の活性化に取り組んだ。また、将来を見据えて子育て賃貸住宅等整備事業などを着実に前進させた。

鈴木敏史委員

おもてなしクーポン発行の取組により市内経済の活性化に寄与したこと、ふるさと納税の取組では、三浦市観光協会への委託により歳入増加が図られたことが評価できる。

本会議における討論

議案第36号 令和3年度三浦市一般会計決算の認定について



反対討論

日本共産党 石橋むつみ

小中学校の就学援助制度は、認定基準所得額が引き上げられたことは一歩前進だが、学用品費と新入学学用品費の支給額が国基準の二分の一のみである。子供の医療費無料化年齢は中学校を卒業するまでだが、神奈



川、東京、千葉、埼玉の市区町村の五四・二%は高校卒業まで無料である。国・県に医療費助成の充実を強く求め、市の子育て支援策として、高校卒業まで無料とすることを求める。
三浦市の地域経済と市民の暮らしはひっそりしている。公正で民主的な市民本位の行財政運営で市民の暮らしと営業を守ることを求める。

賛成討論

自由民主党 長島満理子

歳入増加策として、ふるさと納税の取組や市税などの徴収体制の強化を行い、成果に表われたことは、職員の努力によるもので評価する。
新型コロナウイルス感染症対応の交付金を様々な事業に充当しており、みうらおもてなしクーポン発行事業やバスツアー補助事業では消費

促進、地域経済の活性化に取り組み、住宅リフォーム助成事業では市内経済の活性化と住環境の向上に努めた。
コロナ禍で、社会



コロナ禍で、社会経済の回復や農業・漁業・観光業の向上、市民生活を第一に考えて、将来を見据えた事業に取り組みことを期待する。

賛成討論

公明・みうらクラブ 溝川 幸二

ふるさと納税の取組では、三浦市観光協会への委託により本市の基幹産業である観光振興と連動し、新たな返礼品数の増加等で前年度より二千七百七万九百二十三円の歳入増加が図られた。

教育においては、小中学校の生徒

一人に一台のタブレット端末を貸与し、ICT支援員を設置するなど、デジタル機器が身近なものとなるよう支援し、教育環境の向上が図られたことは評価ができる。
ワクチン接種をはじめ

新型コロナウイルス感染症対策を着実に推進しながら、市内経済活性化への一層の取組に期待する。



討論 本ページ

本会議で議案が採決される前に、その案件に対し、賛成か反対かの意見を表明することをいいます。自分の意見に他の議員を同調させることが目的です。発言は、反対者と賛成者が交互に行います。

用語解説



決算認定 4～5、7ページ

議会が審査して定めた前年度の予算がどのように使われたか、質疑を行い、内容を審査したうえで、収入・支出の予算執行が適正であったことを認定します。



臨時会 15ページ

定例会のほかに、臨時の必要がある場合に開かれる議会です。臨時会は、特定の事件と緊急を要する事件に限って審議することができます。

本会議での議案等の審議結果

《全員賛成で議決した議案》

【議案】

- 第33号 三浦市市民交流拠点整備事業者選定審議会条例
- 第34号 三浦市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- 第35号 三浦市三崎水産物地方卸売市場条例の一部を改正する条例
- 第40号 令和3年度三浦市市場事業特別会計決算の認定について
- 第42号 令和3年度三浦市病院事業会計決算の認定について
- 第43号 令和3年度三浦市水道事業会計決算の認定について
- 第45号 令和4年度三浦市一般会計補正予算（第3号）
- 第46号 令和4年度三浦市市場事業特別会計補正予算（第1号）
- 第49号 令和4年度三浦市一般会計補正予算（第4号）
- 第50号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 第51号 公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて

【諮問】

- 第1号 人権擁護委員の推薦について

【委員会提出議案】

- 第2号 三浦市議会会議規則の一部を改正する規則

《賛否が分かれた議案》 ○賛成 ●反対

※議長は表決に加わらない

番号	件名	審議結果	自由民主党					公明・みうらクラブ			日本共産党		無所属	
			草間道治	千田征志	長島満理子	出口正雄	神田眞弓	出口眞琴	溝川幸二	鈴木敏史	藤田昇	石橋むつみ	小林直樹	蓮本一朗
第36号	令和3年度三浦市一般会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第37号	令和3年度三浦市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第38号	令和3年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第39号	令和3年度三浦市介護保険事業特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第41号	令和3年度三浦市第三セクター等改革推進償還事業特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第44号	令和3年度三浦市公共下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第47号	令和4年度三浦市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第48号	公共施設等運営権の設定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○

一般質問 質問と答弁の要旨

一般質問とは、市政全般にわたって報告や説明を求めたり、疑問をたずねることをいいます。第3回定例会では、12人の議員が市政運営について市側の考えをたずねました。



安心できるまち

食料配送支援と城山地区利活用

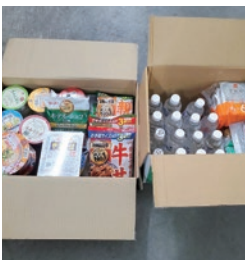
自由民主党 千田 征志

質問 新型コロナウイルス感染症により自宅療養をする方への食料配送支援の対象者を伺う。

防災危機対策室長 市では、当面の食料の確保が困難な方及び同居されている家族などに対して支援を実施している。

質問 申請者数急増に伴い、担当部署の職員のみでは対応が困難と考えるが、市の考えを伺う。

防災危機対策室長 七月以降は申請が急増し、担当部署の職員のみでは対応が困難となった為、他の部署からの増員や配送車両の増車等の対応をし、体制を整えた。



食料支援の内容

質問 城山地区利活用について、前回の定例会にて、旧三浦市福祉会館を宿泊施設とする検討が進められていたと認識しているが、現在の進捗状況を伺う。

市長室長 国の補助金を受けられるよう本年七月に地域計画を作成し提出したが、不採択となった。

質問 旧福祉会館に関する今後の取り組みについて伺う。

市長室長 今後、観光庁の動向に注視し、活用可能な補助制度の募集が実施される場合は、応募していく考えである。

市長 城山地区事業用地の利活用は、三浦市の重要な観光資源である三崎漁港に近いという立地を生かし、関係人口の創出、観光客の滞在時間の延長や消費額の拡大に資する、短期から長期滞在の宿泊ニーズにも対応した施設・機能を整備することを目的としている。

この目的を達成する為の手法として、契約候補者から旧三崎中学校等のリノベーションやプランニングなどの提案を頂いている。又、本年三月に三崎漁港ブランドデザインのゾーニングにも城山地区は位置付けられており、三崎漁港全体を俯瞰し事業間の相乗効果が得られるよう、事業を進めて行く考えである。



旧三浦市福祉会館前



三浦の活性化事業

各種事業の民間事業者との連携

公明・みうらクラブ 鈴木 敏史

質問 城山地区事業用地は本契約の後、民間事業として整備等が進んでいくと思うが、進行管理について考えを聞く。

市長室長 城山地区事業

市長室長 契約候補者からは住民の意向に沿った対応を行う考えであると聞いている。今後とも必要に応じて、随時契約候補者と調整を行いたい。

要望 必要に応じて随時

令和四年三月に策定している三崎漁港グラウンドデザインと連動した進行管理を行う想定である。三崎漁港グラウンドデザイン

対応すること、よろしく願いたい。市内各所でいろいろな事業が行われているが、その地域ごとに心配や不安は様々あると思うので、地域に寄り添った丁寧な対応をしてほしい。これが地域活性化につながり、やがては市内全体が活性化することを願う。

質問 特に事業用地と隣接する部分に近隣住民の心配や不安の声を耳にしている。近隣住民への対応はどうなるのか聞く。



城山地区利活用地区

質問 移住定住を推進していくに当たり、民間との連携が必要であるといふ前答弁されたが、今年度、具体的に連携を行っている事業を聞く。

政策部長 県が主催する

移住セミナーや、市独自で行っている移住講座について民間との連携を行っている状況である。

質問 今後は民間との連

携をさらに強化していく必要があると思うが、市長の考えを聞く。

市長 移住講座は、参加

者から実際に移住した方もいるので、効果的な取組であったと思う。また、移住講座は参加を希望する方から問合せを受けている状況もあり、実施回数を増やし、より多くの方に参加してもらえよう検討している。参加者の様々なニーズに応えるため、協力者も増やしていく必要がある。今後さらに多くの民間の方とも連携をし、移住定住を推進していきたい。



生活道路安全対策

コロナ感染拡大と三浦の取組み

日本共産党 石橋 むつみ

質問 市民に身近な生活道路の安全対策はなくてはならないもの。交通事故が発生時、警察や他の道路管理者との情報共有はなされているか。上宮田の事故の場合はどうか。

市民部長 事故調査業務

は警察が担当する。市は必要に応じて三崎警察署のホームページの事故発生概況から把握している。

ないと認識するが、横断歩道上のガードレールの無い部分から車が進入しているの、さらなる安全対策を検討する。

質問 コロナ感染拡大の

現状と対策などを問う。

副市長 第七波の全国的

な感染者急増により、三浦でも八月一ヶ月で千四百九十八人と爆発的に拡大した。県のBA・5対策強化宣言や自療養届出制度について市民周知を図り、四回目ワクチン接種を行いつつ三回目接種の枠を追加するなどした。

質問 コロナ感染症の影

響で収入が減少した国保等の被保険者等への経済的支援策を伺う。

副市長 国民健康保険の

保険料減免は令和二年度百三十六件、同三年度三十件、本年八月末で四件。

後期高齢者医療保険料減免は令和二年度十四件、同三年度三件、本年八月末で二件。傷病手当金の支給は国保で令和二年度二件、同三年度四件、本年八月末で十件、後期高齢は累計一件である。

質問 市立病院は、神奈

川モデルでの重点医療機関協力病院としての役割も果たされていたと思うが、同時に市内医療機関の保健所、介護事業所等と相互連携をして取組んでいたのではないか。

市長 市は神奈川県鎌倉

保健福祉事務所三崎センターと連携し、センター主催の新型コロナ感染症連絡会議に出席するなど情報共有を行い、市民からの問合せにはセンターの専用ダイヤルが繋がらない場合など市でも対応するよう努めている。

また、ワクチン接種に

ついては、月一回、三浦市医師会、三浦市薬剤師会と接種体制に関する調整会議を持っている。

都市環境部長 市が管理する道路施設の破損を伴う交通事故の場合は警察から通報を受ける。指摘の事故は安全対策に問題



道路施設の破損は無かったけれど一歩間違えば大変な事態に...



農業・水産業振興

三浦野菜等の販路拡大に向けて

無所属 蓮本 一朗

質問 農業・水産業に新規就労、新規参入を企図する人への行政の支援施策についてうかがう。

経済部長 国や県において、各種就農支援のメニューが準備されている。

就農準備型、経営開始型との名称で補助支援があり、新規就農後の資金借入れ時の無利子融資などの制度もある。神奈川県農業アカデミーでは、決められた期間農業の基礎を学ぶ場が整備されていて、新規就農前に準備を整えることができる。

海業水産担当部長 神奈川県では漁業の担い手育成として漁業士の認定・指導や漁業士の育成のための技術研修会を開催している。かながわ漁業就業促進センターでの新規就業を目指す方を対象とした研修で、三浦市の市

場管理事務所の職員が講義している。

質問 静岡県において、国土交通省と農林水産省が、農林水産物の海上輸送に関する実証試験に取り組んでいるとのことだが、その内容と期待されるところをうかがう。

経済部長 海上輸送試験ではモデル地域として清水港及び静岡県、長野県、山梨県を選定、令和三年度に開通した中部横断道を活用し、産地と清水港を時間・距離の大幅短縮も盛り込んだ実証試験が取り組まれている。令和三年に国が、産地・港湾連携型農林水産物・食品輸出促進計画を認定したが、ここにおいて清水港を利用した農産物輸出のターゲットとする国・地域として、台湾、香港、

シンガポール、マレーシアを対象として選定している。

この実証試験に基づく海外販路が確立された際には、中距離集荷圏である三浦市はとも有効な販路になると考えている。現在も海上輸送試験、鮮度保持試験など、農水産物の輸出に関する実証試験が行われている段階だが、実証試験結果を検証し、関東農政局神奈川拠点、神奈川県、三浦市農業協同組合と連携を密に取りながら、三浦市農産物の新たな販路としての活用ができるよう積極的に働きかけていく。



三崎マグロ、三浦野菜の販路拡大を目指しましょう。



海岸利活用

子育て賃貸住宅等整備事業

自由民主党 長島 満理子

質問 開設されない海水浴場に黒岩知事が視察に来たが、内容について伺う。

市長 安全対策の取組状況を視察した。ライフセーバーの休憩する場所がないと話があり、県と迅速な協議を行い、駐車場にコンテナハウスを設置した。県と市の協力体制がしっかりとできていることを実感した。これはいい話なので、報告をさせて頂く。

質問 三浦海岸は、観光資源として多様に利用できる可能性を秘めている。ビーチスポーツなどが気軽にできる施設や場所の整備はできないのか、今後の海岸利活用の構想や案として前向きな検討を進められないか伺う。

市長 これから三浦市として大きなテーマになっ

集客力のある大型観光イベントの開催を好機と捉え、効果的な観光振興に努めたい。

質問 子育て賃貸住宅等整備事業について、長期的に施設を維持管理するために保全が必要である。市と指定管理者の間でどのような管理を検討しているのか伺う。

理事兼総務部長 施設を効率的に維持保全し、長寿命化を図ることは長期的な財政負担軽減につながる。市と指定管理者との間で維持管理業務マニュアルを作成し、長期的な施設の修繕計画も作成していく予定である。

質問 ANAウインドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会について、どんな内容で開催されるか伺う。

市長 開催時期を五月から十一月に変更し、競技種目の統合、附帯イベントの規模縮小など、準備が進められている。また、レンタサイクルを活用し、津久井浜海岸から三浦海岸方面へお客様を誘導する仕掛けを検討している。



三浦市の観光資源



公共浄化槽

西部・南部地区生活排水処理
公明・みうらクラブ 溝川 幸二

質問 西部・南部地区の生活排水処理に関する検討の状況を伺う。

下水道担当部長 平成三十年五月に策定した西部

処理区・南部処理区排水処理方針にて、西部処理区単独であれば公共下水道に着手できる可能性があり、令和七年の事業着手を目指し、より具体的な検討を予定していたが、その後、方向性が変わってきている。最新の将来人口推計を用いて、汚水処理を公共下水道で実施する場合と合併処理浄化槽で実施する場合を比較すると、必ずしも公共下水道が有利ではなく、合併処理浄化槽での処理を採用する可能性が出てきた。環境省からは、浄化槽を公共浄化槽として市町村が管理する考え方が示されており、三浦市で

も公共浄化槽導入の検討をしている。

質問 公共浄化槽というのは耳慣れない言葉だが、新手法なのか伺う。

下水道担当部長 公共浄化槽は、令和二年に浄化槽法が改正された際、新たに定義された用語である。それ以前は市町村設置型浄化槽という名称であり、一般的に、市が個人の敷地内に浄化槽を設置し、維持管理も行い、浄化槽の利用者である市民から、維持管理費等を使用料として市へ支払ってもらっている。

質問 今後の西部・南部地区の排水処理はどう進んでいくのか伺う。

市長 令和四年度中に、三浦市にとって公共浄化槽が最善の方式かどうかしっかりと検討していく予定である。大きな懸案

事項である西部・南部地区の生活排水処理について、スピード感を持って問題解決を目指していきたいと考えている。

要望 生活排水の処理が行われなければ、海洋汚染へとつながり、生態系を乱し、三浦市の基幹産業である漁業へも影響が出るかもしれない。SDGs十四番目の目標「海の豊かさを守ろう」を達成するため、生活排水処理を見直し、海洋環境を守ることは、これからの三浦市にとっても重要なことと捉えている。今後、西部・南部地区の生活排水の在り方について、動向にも注視していきたい。



公共浄化槽のイメージ



小学校の統廃合

市役所の移転、防災まちづくり
日本共産党 小林 直樹

小学校の統廃合計画

質問 教育委員会は、学校教育ビジョンを策定し、三崎地区の三つの小学校を一枚に、南下浦地区の四つの小学校を一枚にする計画を進めていた。

しかし、小学校の存続を求める意見が多くあり、学校教育ビジョンを見直すことになった。

保護者へのアンケート結果では、「統廃合を進めると回答した方は少数であった。保護者の方は、一度に統廃合することを望んでいないことがハッキリとしたが、どのように考えているか？」

教育部長 段階的な実施を望む声も優位であったと考えている。

質問 学校教育ビジョンの見直し時期は、いつ頃になるのか？

教育部長 今年度中の改

定を目標としている。

要望 見直しに当たっては、一度に五つの小学校を廃校にしてしまうことに固執すべきではない。



三浦市立名向小学校

市役所移転後の施設

質問 市役所の移転は、市民生活に大きな影響を与える。市民の声を十分に聞いて進めることが必要である。

市役所が移転した後、「城山地区に何らかの機能を残す必要がある」と市長は答弁していたが、事業者との協議は進んでいるのか？

市長 公共機能を残すこ

とについて、おおむね同意を得ている。施設の規模、機能については、事業計画の検討と並行して調整を進めていきたい。




三浦市役所 本館

防災まちづくり

質問 今年度、土砂災害警戒区域、津波浸水想定区域、高潮浸水想定区域を反映した総合的な防災ハザードマップを作成することになっているが、進捗状況は？

防災危機対策室長 神奈川県から、高潮浸水想定区域の指定が来年度になる見通しだと連絡があった。

そのため、来年度の完成を目指し作業を進めている。



観光振興
車での来訪者に向けて
無所属 寺田 一樹

質問 三崎下町地区では駐車場が不足しているとの指摘が以前からある。

混雑時には、「つらり」先の岸壁を臨時駐車場として利用させてもらうことで対応を図っているが、開放されるまでの間、街には一時的に渋滞が発生する。開放のタイミングを早めることはできないのか尋ねる。

経済部長

当該地は、マグロなどの水揚げが行われる高度衛生管理エリアであり、東部漁港事務所から一時使用許可を受けて使用している。使用に当たっては、「つらり」周辺の三つの主要駐車場が満車になった後に臨時駐車場として使用するよう指導されているため、渋滞が発生する前に臨時駐車場として開放することは困難である。

質問 三浦縦貫道路から東海岸線を経由するルートとの定番化は、三浦市観光にとつて必要である。

東海岸線エリアにある宮川公園内にカフェなどを整備することで新たな魅力創出に繋がると考え、行政の考えを伺う。

都市環境部長

将来、宮川公園は、一般廃棄物最終処分場宮川埋立地の廃止に伴う跡地利用として拡張整備を計画している。
要望 拡張するとすると、カフェなどに留まらず、道の駅などの集客施設も考えられる。早期に実施計画を策定してほしい。



宮川公園



充電設備

質問

地球温暖化対策の一環として、電気自動車の普及が予想されている。多くの方を迎える立場の三浦市としては、民間の充電設備の他、公共の場においても充電設備を整備する必要があると考え、市ではどのように考えているのか尋ねる。

市長

三浦市は、令和二年五月に「ゼロカーボンシティみうら」を宣言し、二〇五〇年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指している。電気自動車の普及は、二酸化炭素排出抑制に有効な手法であることから、普及に欠くことのできない充電設備の設置に関しても、今後策定予定の地球温暖化対策実行計画の中に盛り込んでいきたい。



防災対策について
三浦市業務継続計画
自由民主党 出口 正雄

質問

内閣府は、大規模災害が発生した際に市町村が災害対策の主体として重要な役割を担うため、業務継続計画の早期の策定を促した。三浦市でも平成三十年に策定された

が、そのうち職員の参集体制について、その手段と登庁までの見込み所要時間及び職員の居住地域を聞く。また、大規模災害時の職員確保のため、OBを中心とした緊急時応援組織の結成を提案するが市長の考えを聞く。

防災危機対策室長

大規模災害時の職員の参集体制は、登庁手段としては徒歩、自転車及びバイクを想定している。令和二年度に実施した訓練の結果、参集率は三十分以内に一四・八%、三時間以内に五五・四%、六時間以内に七五%、十二時間

防災対策について

また、城ヶ島地区の高級旅館計画の進捗を聞く。

以内に九五・三%の職員登庁が可能であった。職員の居住地域は四一・三%が横須賀市内、四一%が三浦市内、一七・七%が他の地域である。

市長 ご提案の緊急時応援組織は、退職後のOBの所在把握が困難、退職後のモチベーションの低下、災害の補償などの課題もあり実現は困難とと思うが、知識経験の豊富な職員は再任用職員として活躍しており、そういったことで活用を図りたい。

質問

二町谷埋立土地利用計画は、日本さかな専門学校が正式に開発許可が認証され、校舎は竣工し、来年四月の開校を待つばかりである。埋立地のその他の事業の進捗状況を聞く。

開発コミット

また、城ヶ島地区の高級旅館計画の進捗を聞く。
市長室長 二町谷地区埋立地の多目的活用事業用地は、令和三年三月に事業者から事業計画が提出され、十年程度で段階的に開発する計画である。現在は、北公園整備、浮き桟橋設置がされ、今後ブランディングのためイベントを予定している。



旧城ヶ島京急ホテル

また、城ヶ島地区の高級旅館計画の進捗を聞く。

また、城ヶ島地区の高級旅館計画の進捗を聞く。
市長室長 二町谷地区埋立地の多目的活用事業用地は、令和三年三月に事業者から事業計画が提出され、十年程度で段階的に開発する計画である。現在は、北公園整備、浮き桟橋設置がされ、今後ブランディングのためイベントを予定している。



学校給食費の補助

防災・減災・停電対策について

公明・みづらクラブ 藤田 昇

質問 学校給食会への補助について。国際社会の

緊張、感染症による経済の停滞などの複合的な理由により、物価上昇は残念ながら今後も続いていくと公算が高いと考える。

子育て世代の経済的負担がこれ以上急激に増大しないための施策は速やかに実施されるべきだと考えるが、学校給食会への補助などに関して具体的な実施予定は考えているのか伺う。

教育部長 今後、状況を勘案して、適切な時期に補助等ができるように調整していく。

質問 国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用すること、三浦市においても学校給食費支援事業を実施することを改めて要望するが、そこで学校給

食に関する市長の考えを伺う。

市長 今後の状況を的確に把握して、必要であれば公費負担により、その不足分を補うことが必要。令和四年度中の給食費の値上げをすることはなく、手だてを講じていく。今後も、市として、短期間に大きく増している保護者の経済的負担を軽減する施策はしっかりと実施をしていく。

質問 停電対策について。近年、台風など集中豪雨や落雷により、三浦市内においても大規模な停電が頻発している。令和元年十月の台風十九号では九千五百軒、また、八月の台風八号でも九百五十軒が停電をしている。県が災害時でも停電のない暮らしを確保するための太陽光発電と蓄電池の普

及をするため、ゼロ円ソーラーや太陽光発電・蓄電池の共同購入事業を実施しているが、これらの制度を活用して太陽光パネルや蓄電池を一般家庭に設置すれば停電対策として有効と考える。県の事業であるが、本市では周知をしているのか伺う。

都市環境部長 環境課のホームページで紹介している。このほか、広報紙「三浦市民」においても両事業について掲載を実施した実績がある。

質問 県の事業ではあるが、市としても太陽光パネルや蓄電池の設置支援事業の推進をすることを提案するがお考えを伺う。

都市環境部長 神奈川県とも協力しながら、事業を推進していく。



【学校給食：地元野菜大根とカジキ煮】



あったかいまち

子供を産み育てたくなるまち

自由民主党 神田 眞弓

質問 三崎下町振興

昭和の風情に触れようと三崎下町を訪れる観光客の方もコロナウイルスの影響で減少し、下町で営業を継続することさえ難しくなった店舗も多い。

観光振興ビジョンでは、三崎下町の課題は商店街の活性化であると指摘されている。下町の回遊性を向上させるためには、新たな拠点が必要だと考えるが、拠点づくりの計画があるのか伺う。

市長 三崎下町の四つの商店会などは、全体で二十店舗ほどが減少した。ビジョンでは三崎地区の課題として下町商店街の活性化を掲げている。既に観光資源としてあるうらりマルシェや昭和の趣のある港町、マグロを中心としたグルメなど、三浦の持っている強みを

活用しながら、さらなる活性化に努めたい。



多くの人でにぎわうみこしパレード

質問 学校教育ビジョン

保護者アンケートにより、安全な通学手段の確保が保護者不安の解消には必要であることが分かった。早い段階で市の対策を提示して不安を解消することが不可欠であり、安心だと感じていただくことが学校教育ビジョンが目指す学校教育体制をつくることへの第一歩だと思いが、考えを伺う。

教育長 学校運営の基本である安全な通学手段の確保を、統廃合によるものだけでなく、全市的な

課題と捉え直し、長距離通学に関する課題を改善する方策を具体的に実施することを考えている。その方策をいち早く実施することは、学校教育ビジョンの推進に関する保護者の不安解消に大きな前進をもたらすと考える。

質問 こども家庭庁

こどもまんなか社会を目指すための司令塔として創設されるこども家庭庁の理念に沿った子育て支援の取組について伺う。

副市長 こども政策の基本理念の一つに、子供や若者、子育て当事者に必要な情報や支援が行き届くよう、利用者目線に立ち、SNSなどを利用したプッシュ型の情報発信による支援の構築がある。

本市でも、オンライン相談や相談員への直接電話を可能とする設備を整えており、新たな基盤づくりとしてLINEやSNSを活用した子育て支援政策の情報発信も準備を進めている。



三浦市の水産業

水産振興・三崎魚市場

自由民主党 出口 眞琴

質問 三浦市低温卸売市場が供用開始され四年が過ぎた。現状を伺う。

海業水産担当部長 場内専用長靴の着用、オーバースライダの二重化、低温管理など、徹底した衛生管理、品質管理を行っており、冷凍マグロの品質が向上している。

質問 市場で取扱いを増やすために、高度衛生管理型市場の優位性をPRしていく必要があるが、取組を伺う。

海業水産担当部長 低温卸売市場一階場内での映像を撮影し、他の市場では実現できていない迫力ある冷凍マグロの取引の映像で高度衛生管理化された市場のPRを行い、販路拡大に寄与している。

質問 販路拡大には海外市場への輸出も有効な手段だが取組を伺う。

海業水産担当部長 三浦市輸出促進協議会において、三崎漁港輸出戦略を策定し、輸出促進セミナーを開催、輸出拡大に向けた取組を行っている。

質問 冷凍マグロ類の取扱量の維持と増大をすることが必須だが、市場への冷凍マグロを集荷させる取組を伺う。

海業水産担当部長 一定の水揚げがあった漁船に対する水揚げ奨励金の交付や、業界関係団体と市長がトップセールスを行っている。三崎の仲買人の目利きが優れており、高値がつくという優位性も関係各所にPRしている。

質問 沿岸漁業の取扱高が減少傾向にある。その対策について伺う。

海業水産担当部長 沿岸漁業の支援の観点から、

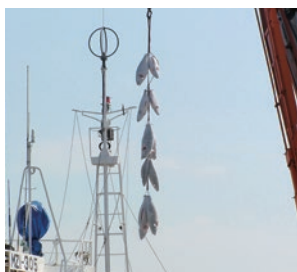
漁協の取組が継続的に実施できるよう補助金による支援を行っている。

質問 観光との連携による取組を伺う。

経済部長 観光振興ビジョンで定めた三崎地区の基本方針として、三崎港町まつりやみつら夜市など集客力のある観光イベントで観光客を呼び込む取組を図っている。

質問 三浦市の水産業の中心核として経済を支えてきた三浦市三崎水産物卸売市場が百周年を迎えた。この記念すべき節目に記念式典等を実施することについて伺う。

市長 来年春を目前に開催できればと考えており、関係者を招いての式典の開催など、内容についても検討している。



冷凍マグロの水揚げ

選挙

三浦市選挙管理委員及び同補充員の任期が十月二十八日をもって満了するため、本会議で選挙を行い、次の方々が当選されました。

選挙管理委員

- 長島 徹氏
- 大隈 多恵子氏
- 柴谷 肇氏
- 土田 成明氏



同補充員

- 脇坂 眞氏
- 松本 幸雄氏
- 出口 吉男氏
- 吉村 文弘氏

人事

市長から、次の方々を教育委員、委員及び民生委員会委員として、それぞれ任命・選任するための議案が提出され、原案のとおり同意しました。

教育委員会委員

- 石渡 博幸氏

公平委員会委員

- 山田 玲子氏



市長から、次の方を人権擁護委員として法務大臣に推薦することについて、意見を求める諮問が提出され、異議なき旨、答申しました。

人権擁護委員

- 湊 けい子氏



新型コロナウイルス感染症に 対する議会の対応

議会災害等対策本部の活動について報告します。

八月二十四日

◎市の対応等について報告を受けた。

- ・ 神奈川県及び三浦市の新型コロナウイルスの感染者数について
- ・ 新型コロナウイルスワクチンの年代別接種件数について

九月二十八日

◎次回定例会に向けて対応を協議した。

- ・ 引き続き災害等対策本部を設置し、十二月定例会前に対応について協議をする

◎全国市議会議長会研究フォーラム（長野県長野市開催）は、今任期で

- ・ 本会議及び委員会では間隔をあけて着席する、傍聴者の人数制限をする、検温を行う等の感染症対策を前回と同様に行う

未参加の議員十名が参加することを確認した。

議場の飛沫防止用パネル及び手指消毒剤の設置状況です。
換気や消毒作業も適宜行っています。



臨時会が開かれました

七月二十日に、第二回臨時会が開かれました。次の議案が提出され、全会一致で可決しました。

令和四年度三浦市一般会計補正予算（第二号）

◎令和四年度三浦市一般会計補正予算（第二号）

- ・ 本補正は、歳入歳出それぞれ一億六千六百五十四万九千円を追加するものです。

補正予算で行う事業

- ・ 心身障害児生活訓練会事業、保育所等における新型コロナウイルス感染症対策補助事業……保育士等への手当支給や備品購入の補助金など
- ・ 子育て世代包括支援事業……令和三年四月一日以降に生まれた乳幼児の保護者に育児用品を支給するための委託料など
- ・ 三浦市経済対策補助金交付事業……みうらおもてなしクーポン発行事業に対する補助金

全員協議会

七月二十日に全員協議会が開かれました。市民からの申入書で、市民グループが発行したマップに、協賛業者として議員に関わる事業者名が掲載されたことが指摘され、このことについて連本一朗議員への質疑が行われました。

また、蓮本議員からは、過去の全員協議会で自身の発言が二転三転したことに對する謝罪の言葉が述べられました。

表紙写真の紹介

議長の草間です。

今回の写真は、九月十九日に台風十四号に備え、油壺湾避難泊地に避難する船の写真です。場所は、三浦半島の西部に位置し、相模湾に面する小湾で、荒井浜入口手前に入り、石段を下りてゆくとたどり着きます。

この油壺湾は、西側の網代崎（あじろさき）と東側の名向崎（なこうざき）に挟まれたリアス式海岸の入り江で、幅百メートルから百五十メートル、奥行七百メートルと東西に細長い湾で面積は約六万四千平方メートルあります。

時には茅ヶ崎市以東の沿岸各地から、多いときは二百隻近い漁船等が避難してきます。

今回の台風十四号の接近時には、三浦半島はじめ各地から百十一隻の避難してきた漁船等が湾を埋めるように整然と並び、ロープでお互いの船や係留ブイと結び、強風や高波に備えていました。

相模湾が台風の影響で荒れていても、この場所には、本当に波がなく穏やかで静かな湾でした。この湾を眺めていると何か心が安らぐ感じがしました。

避難している船舶もきっと私と同じことを感じていると思いました。

周りには緑豊かな自然林があり、台風時でも静穏な状態が保たれる湾であり、神奈川県内唯一の避難泊地に指定されていることから、毎年台風



広告募集

みうら議会だよりへ広告を掲載しませんか？詳しくは、議会ウェブサイトをご覧ください！



12月定例会日程案

令和4年第4回定例会は、次の日程により開かれる予定です。

月 日	曜日	会 議 名 等
11月 29日	火	招集告示
12月 1日	木	議会運営委員会（日程・審議方法等決定）
6日	火	本会議（一般質問）
7日	水	本会議（一般質問）
8日	木	本会議（一般質問）
9日	金	総務経済常任委員会
12日	月	都市民生常任委員会
16日	金	本会議（委員長報告・採決）



お家でも議会が見学できます！

本会議の映像をYouTubeで配信しています。スマートフォンでも視聴できますので、ぜひ、議会の様子をご覧ください。

三浦市議会ウェブサイトはこちらから⇒



議員の紹介や会議録など、議会に関する情報がご覧になれます。

※今定例会で審査する請願・陳情の提出期限は11月30日（水）です。

議会のICT化を進めます！

タブレット端末の使用に向けた検討

議会内のICT（情報通信技術）の活用を進めるため、九月定例会ではICTに関する検討委員会と議会運営委員会で検討を行いました。

十月からのタブレット端末導入に向け、決定をした事項を報告します。

◎ 試行について

本格導入は令和五年第一回（三月）定例会から、それまでは試行期間として、紙資料と併用します。

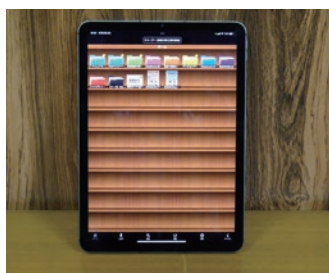
◎ ペーパーレス化について
議案や会議の通知など、可能なものは全てデータ化をしていきます。

◎ 情報通信機器の使用に関する基準について

議会での情報通信機器の使用基準を定め、使用できる機器や守るべき事項等を明確にしました。

◎ アプリケーションの導入について

各種連絡やスケジュール管理を行うアプリケーションをタブレット端末に入れ、活用します。



導入したタブレット端末

会議規則を改正

議会運営委員会の提案により三浦市議会会議規則を改正しました。

改正のポイント

- ① 本会議や委員会で情報通信機器の使用を可能とする。
- ② 文書等をデータ配信することで配布に代えることができる。

編集委員コラム

編集委員

出口 正雄

一八四七年に海防陣屋が設けられた歴史がある地に昭和五十三年十一月南下浦センターが開館しました。サークル活動の場として、また、公民館フェスティバルなど数々のイベントが開催され、幅広く利用されました。熱戦が繰り広げられる三浦三崎マグロ争奪将棋大会は特に知られています。十月末に閉館するまで市民から親しまれてきた南下浦市民センターへ、おつかれさまでした。

議会だより

編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 草間 道治 |
| 副委員長 | 小林 直樹 |
| 委員 | 蓮本 一朗 |
| | 溝川 幸二 |
| | 石橋むつみ |
| | 出口 正雄 |